



百道浜での海岸清掃

一つの海でつながっている

市民や企業、ボランティア、行政が一体となって、海や山、河川、地域などを清掃する「ラブアースクリーンアップ」が行われました。この取り組みは、福岡市で「地球環境と地域行動」をテーマに平成4年6月にローマ・クラブ福岡会議が開催されたことを契機に始まり、今年で19回目。早良区では、6月6日、百道浜会場と室見川会場の2カ所を本会場に、また5月30日

から6月13日にかけて、25カ所の地域で清掃活動が行われ、総勢5257人が参加して、2508袋のごみが回収されました。

百道浜での海岸清掃は、福岡市をはじめ、日本・中国・韓国の10都市で構成する「東アジア経済交流推進機構環境部会」の2010年プロジェクト「我々はこの海でつながっている」日中韓10都市海岸クリーンアップ事業も合わせて行われました。

河川美化活動！

継続して100回目

原北校区 金屑川を愛する会

原北校区のボランティアグループ「金屑川を愛する会（中垣里子会長、会員約40名）」は、毎月第3日曜日の朝8時に金屑川公園に集まり、汐見橋から大原橋までの区間で河川と道路の清掃を実施しています。

長年にわたり河川にごみが積もった

さわらエコナビ通信

第10号・発行
平成22年12月1日
早良区生活環境課
TEL:833-4341
協力
早良区環境活動
連絡会議

状態であったため、同校区に住む安東寛さんや伊豆英二さん、中垣里子さんなどの呼びかけで活動がスタート。平成14年4月から8年間にわたり続けられ、7月18日で活動が100回目を迎えました。



川にごみを捨てないで！

当日、朝8時の集合前から、早々に数名の方が、伸縮自在のかぎ竿や火ばさみを手に、河川のビニールごみや空き缶の片付けを開始。愛用のとう鋏で、道端の草を刈っていた原野久子さんは、「子どものころ、大原橋から川に飛び込んで泳いでいました。川遊びができるごみの無い川にしたい」と語り、黙々と手を動かしていました。



金屑川の生物観察会！

自然体験学習！

金屑川であ・そ・ぼ！

原西公民館

原西公民館（林勝朗館長）は、5月15日、金屑川の生物観察会を開き、原西小学校の1年から3年生を中心に45名が参加しました。

仲良く草を刈っていた田中さんご夫妻。取り残したビニールシートを見つけ、かぎ竿を使って回収している方など、全員が金屑川を愛する人たちでした。

児童たちは、福岡大学の山崎惟義先生から「室見川の役割」と安全な川遊びの方法を、「室見川再生を語る会」の森部先生から「金屑川の植物」について、柴田先生から「金屑川の魚」について、それぞれ教わりました。

学習の後、金屑川に出掛け、水生植物のネズミムギなどを観察したり、手でハヤやヤゴを捕まえたり、川遊びを楽しみました。

公民館に戻り、中島裕子主事からの「楽しかったですか？」との問いかけに、参加者から一斉に「はい、また参加したい！」と元気な声があがりました。

朝から涼しい！

窓いっぱい「緑のカーテン」 田村公民館

今年、早良区の各公民館と6カ所の老人いこいの家などで、ゴーヤや朝顔による「緑のカーテン」作りが行われました。2階の窓までゴーヤのカーテンで覆われた田村公民館（岩室勝子館長）を紹介します。

岩室館長はじめ、谷口啓子主事、兼

田重明さん、石井喜洋さん、宮原希美子さんなど、地域の方が協力して土作りから開始。プランターの底に、鉄製の柱を2本敷き、通風を良くして、根腐れとコンクリート地面からの熱の伝わりを防ぐなど、工夫して、立派な緑のカーテンが完成しました。



田村公民館の「緑のカーテン」

館長は、「朝、事務室に入ると、3

度から4度涼しく感じました。また、事務室の冷房温度も努めて高めに設定していますが、窓越しに緑のカーテンが目に入り、涼しさを感じました」と話していました。公民館に遊びに来ていた子どもたちは、ゴーヤの実を見て、「大きくなったら欲しい」と館長にお

ねだり。また、ゴーヤを持って帰った方の中には、来年は家でも栽培しようという話す人もあり、緑のカーテン作りの広がりが期待されます。

海外研修生との交流！

集まれ！第8回地球体験村 脇山校区

7月29日から31日まで、脇山校区の住民や学校、オイスカ西日本研修センターなどで構成される「集まれ！第8回地球体験村実行委員会（結城勉委員長）」が、オイスカ西日本研修センターで「第8回地球体験村」を開催しました。

2泊3日の宿泊研修で、環境学習や国際交流、農作業を体験するもので、応募した小学生46人、中学生3人、高校生2人の計51人が参加。板谷地区での不法投棄ごみ



トの収穫、エンピツ作り工作などに汗を流しました。

参加者からは、「不法投棄現場を見て、いろんな壊れたものが捨ててあつてびっくりしました。回収作業をしている人の大変さが分かった」「研修生と一緒に収穫をしたり料理を作ったり、川遊びをしたり、すべてが楽しかった」と感想が語られました。

また、今年、脇山小学校創立120周年ということで、31日に校庭で開かれた「第17回脇山校区サマーフェスティバル」にも参加し、千人を超える校区住民の前で、歌や海外研修生に教わった民族舞踊などを披露しました。



板谷地区での不法投棄ごみの回収